学校番号	414

令和８年度　公民科

教科	公民科	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「公共　新訂版　共につくる未来」（7 実教　公共 007 - 902）（実教出版）						
副教材等	「公共　マイノート」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

いま生きている社会の様々な問題等に対して、知識を身につけるだけでなく、主体的に考察し、課題の解決に向けて行動に移せるよう意欲的に取り組むことを期待します

2　学習の到達目標

【知識および技能】
現代の諸課題を捉えるため、諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、理解し、まとめ上げる。
【思考力、判断力、表現力等】
現実社会の諸課題の解決に向けて、公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を入れながら思考・構想したことを議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	第1編　公共の扉	**第１章** **社会を作る私たち** **1 青年期と自己形成** **2 自己形成の課題（１）** **3 キャリアと社会参加** **4 伝統・文化と私たち**	a: 青年期の課題や人間が社会的存在であることの意義を理解する。世界の宗教や日本の思想等、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れることを通じて、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することができる存在であることについて理解する。 b:自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 c:公共的な空間をつくる私たちについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	発問評価 小テスト 定期テスト	資料の読み取り ワークシート 発問評価 定期テスト	授業態度 レポートの内容 ディスカッション
		第２章 **人間としてよく生きる** **1 古代ギリシアの人間観** **2 宗教と人間** **3 科学と人間** **4 自由の実現** **5 社会を作る人間**	a: 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解する。 幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを通して、人間としての在り方生き方について考えることがよりよく生きる上で重要であることを理解する。 b:幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方を踏まえ、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。 c: 公共的な空間をつくる人間として、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	発問評価 小テスト 定期テスト	資料の読み取り ワークシート 発問評価 定期テスト	授業態度 レポートの内容 ディスカッション

一学期		**第３章** **他者とともに生きる** **1　人間と幸福** **2　公正な社会をめざして** **第４章** **民主社会の倫理** **1 人間の尊厳と平等** **2 自由・権利と責任・義務** **第５章** **民主国家における基本原理** **1 民主政治の成立** **2 民主政治の基本原理** **3 民主政治のしくみと課題** **4 世界の主な政治制度**	a: 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 b:諸資料を読み取り、情報を活用して、公共的な空間における基本的原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、構想できるようにする。 c: 現代の近代民主主義国家に対する関心を高め、個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察しようとしている。	発問評価 小テスト 定期テスト	資料の読み取り ワークシート 発問評価 定期テスト	授業態度 レポートの内容 ディスカッション プレゼンテーション

二学期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち	**現代の民主政治と日本国憲法** **第１章** **日本国憲法の基本的性格** **1 日本国憲法の成立** **2 日本国憲法の基本的性格** **3 自由に生きる権利** **4 平等に生きる権利** **5 社会権と参政権・請求権** **6 新しい人権** **7 人権の広がりと公共の福祉** **8 平和主義とわが国の安全** **9 こんにちの防衛問題**	a: 日本国憲法と大日本帝国憲法との比較から相違点を考えさせる。また日本国憲法の三大原則を理解する。具体的な事例を通して、日本国憲法の基本的な権利について理解する。 b:新しい人権の広がりや 具体的事例を通して、多様な契約の存在や、契約の意義やリスクについて多面的・多角的に考察、表現できるようにする。 c: 憲法と人権に関心を持ち、自己の生き方と結び付けて考察しようとしている。 a: 日本の戦後における外交のあゆみを通して、平和な社会を作るために日本の外交が果たしてきた役割とその課題について理解する。 b: 「領土問題」を事例に、現在日本が抱えている「領土問題」の経緯に関する情報を収集し、読み取って、「領土問題」の解決の在り方について考察、構想する。 「憲法改正」を事例に、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方等を活用して、憲法改正の在り方について考察、構想する。 c: 現実社会の諸課題について、特に日本の平和主義と安全保障の問題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	発問評価 小テスト 定期テスト	資料の読み取り ワークシート 発問評価 定期テスト	授業態度 レポートの内容 ディスカッション

二学期		**第２章** **日本の政治機構と政治参加** **1 政治機構と国会** **2 行政権と行政機能の拡大** **3 公正な裁判の保障** **4 地方自治と住民福祉** **5 政党政治** **6 選挙制度** **7 世論と政治参加**	a: 日本の統治機構と世界の統治機構と比較し、私たちの権利や自由を守るためにどのように組織されているのか理解する。 国会・内閣・裁判所のしくみと働きについて理解する。 日本の行政機関の特徴と行政権の拡大の問題点について理解する。 b: 「模擬裁判」を事例に、裁判や法律家が果たす役割、適正な手続き、証拠や論拠に基づき公平・公正に判断することについて多面的・多角的に考察、表現できるようにする。 「模擬請願」を事例に、現在住んでいる自治体が抱える課題について適切に情報を収集し、読み取って、課題の解決の在り方について考察、構想する。 c: 現実社会の諸課題について、特に政治的分野について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	発問評価 小テスト 定期テスト	資料の読み取り ワークシート 発問評価 定期テスト	授業態度 レポートの内容 ディスカッション

二学期		**現代の経済社会と国民生活** **第３章　現代の経済社会** **1 経済活動と経済主体の意義** **2 経済社会の変容** **3 市場のしくみ** **4 市場の失敗** **5 現代の企業** **6 国民所得** **7 経済成長と国民の福祉** **8 金融の役割** **9 日本銀行の役割** **10 財政の役割と租税** **11 日本の財政の課題** **第４章** **日本経済の特質と国民生活** **1 戦後日本経済の成長と課題** **2 転機に立つ日本経済** **3 経済社会の変化と中小企業** **4 農業と食料問題** **5 消費者問題** **6 公害の防止と環境保全** **7 労働問題と労働者の権利** **8 こんにちの労働問題** **9 社会保障の役割** **10 社会保障制度の課題**	a: 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念について理解する。 企業の役割とはたらきについて理解する。 戦後の日本の経済の発展の歴史について理解する。 財政と租税のしくみと機能について理解する。 社会保障制度の歴史的経過を把握させ、制度の内容と課題について理解する。 b: 「市場経済の機能と限界」を事例にして、市場の失敗の事例とその対応方法について考察し、表現する。 日本経済の成長と課題をもとに、社会の急激な変化や、それに対応する社会的な起業の意義とともに、働くことの意義について考察、表現する 「金融の働き」を事例に、金融のしくみと役割や、新たな金融の形態について考察、表現する。 「雇用と労働」を事例に、労働者の権利や労働契約を巡る法規制の形態について考察、表現する。 c: 私たちの生活における経済の役割について、その社会に生きる自らの考えにちかづけて考察しようとしている。	発問評価 小テスト 定期テスト	資料の読み取り ワークシート 発問評価 定期テスト	授業態度 レポートの内容 ディスカッション

三学期		**国際社会と人類の課題** **第５章** **国際政治の動向と課題** **1 国際社会と国際法** **2 国際連合と国際協力** **3 こんにちの国際政治** **4 人種・民族問題** **5 軍拡競争から軍縮へ** **6 国際平和と日本の役割** **第６章** **国際経済の動向と課題** **1 貿易と国際収支** **2 外国為替市場のしくみ** **3 第二次世界大戦後の国際経済** **4 地域的経済統合の進展** **5 国際経済のつながりと課題** **6 発展途上国の諸課題と日本の役割** **第 3 編　持続可能な社会づくりの主体となる私たち** **1 課題の設定** **2 情報の収集と読み取り・分析** **3 課題の探求** **4 自分の考え方の説明、論述**	a: 国際社会における国家主権の意味と、国際関係を規律する国際法の意義及びその発達について理解する。 第二次世界大戦後、世界の体制はどのような展開をしたのかを理解する。また、その歴史の中で、核拡散防止の現状と核軍縮に向けた取り組みについて理解する。 自由貿易と保護貿易の違いを理解するとともに、自由貿易が拡大した背景やその影響(「相互依存」等）について、為替レートや国際収支と関連付けながら理解する。 b:「経済のグローバル化と相互依存」を事例に、グローバル化の進展が及ぼす影響と社会の変化について、考察し、表現する。 「国際社会で貢献しよう」を事例に、SDGs の概念を理解するとともに、ODA 大綱等の資料を読み取り、日本が国際社会で果たすべき役割について考察し、構想する。 c: 現実社会の諸課題について、特に国際社会に関する分野について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 a: 国際社会のなかで国際連合の果たす意義と役割について理解する。グローバル化する社会のなかで日本と世界の課題についてで理解する。持続可能性という概念について考え、その有用性を理解する。	発問評価 小テスト 定期テスト	資料の読み取り ワークシート 発問評価 定期テスト	授業態度 レポートの内容 プレゼンテーション ディスカッション

	第3編　持続可能な社会づくりの主体となる私たち		b:各種事例に対して、主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述する。 c:持続可能な社会の形成に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察している。		資料の読み取り ワークシート	プレゼンテーション レポートの内容 ディスカッション

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度